

会 議 録

1 会議名

平成28年度第2回八千浦区地域協議会

2 議題

【協議事項】

・平成28年度地域活動支援事業について（公開）

①提案者による提案説明、質疑応答

②委員協議・採決

③追加募集の実施について

3 開催日時

平成28年6月15日（水）午後6時30分から午後7時56分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 仲田紀夫（会長）、白砂啓子（副会長）、大島進、笠原武、笠原幸博、
坂口晃義、坂詰喜範、関川信之、関川幹雄、丸山光雄、柳澤 篤、
渡辺孝三郎

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主事

8 発言の内容

【関川センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【仲田会長】

・挨拶

・会議録の確認：笠原幸博委員、坂口委員に依頼

議題【協議事項】平成28年度地域活動支援事業について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

- ・資料に基づき説明

【仲田会長】

これより、提案団体から説明を受ける。

最初に「No.1 バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」について、提案者へ説明を求める。

【提案No.1 バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

提案者に対して質問等はあるか。

【関川信之委員】

3点伺いたい。

1点目は、構成員の中で、八千浦区の子どもは何名いるのか。

2点目は、構成員の中には他区の子どももいるようだが、これまで他区において、助成を受けたことがあるか。また、今後、受ける予定はあるか。

3点目は、この事業を通じて構成員の確保にどのような形で役立っているか。

【提案No.1 バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業提案者】

1点目についてだが、構成員は八千浦区の子どもが5名入部している。その他、大湊区の子どもが7名、頸城区の大養小学校の子どもが11名、明治小学校の子どもが1名入部しており、合計24名の構成になっている。

2点目については、八千浦区で活動しているチームのため、他区からの助成は受けておらず、今後も考えていない。

3点目については、助成を受け、遠征や大会出場の機会を増やすことで、チームの名前を広められるため、それが構成員の確保に役立っていると思う。また、構成員を増やすために、年度始めに、ポスターを作り、コンビニに貼ってもらったり、各小学校へ募集を掛けたりしている。体験したいという子どももいるので、随時、対応している。

【仲田会長】

他に質問等はあるか。

【白砂副会長】

昨年度は提案されていないが、他の区で提案されたのか。

【提案No.1 バスケットボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業提案者】

昨年度は、提案をしていない。今年は、コーチの意向もあるが、構成員の人数が増えたこともあり、昨年度よりも遠征や大会出場の機会を増やし、さらにチームの名前、「八千浦」の名前を広めていきたいと考え、今回の事業を提案した。

【仲田会長】

他に質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.2 幼年野球を通じた地域活性化・青少年の健全育成事業」について、提案者へ説明を求める。

【提案No.2 幼年野球を通じた地域活性化・青少年の健全育成事業提案者】

・補足説明なし

【仲田会長】

提案者に質問等はあるか。

【関川信之委員】

以前から地域活動支援事業の助成を受けているが、事業を通じて、どういうことに役立っているか。

【提案No.2 幼年野球を通じた地域活性化・青少年の健全育成事業提案者】

ユニフォーム等の購入の補助を受けているが、道具が揃っているとメンバーを募集しやすい。構成員の確保という面で役立っている。

【仲田会長】

他に質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.3 防犯灯を整備する事業」について、提案者へ説明を求める。

【提案No.3 防犯灯を整備する事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業」について、提案者へ説明を求め

る。

【提案No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業提案者】

- ・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

提案者に質問はあるか。

【関川信之委員】

2点伺いたい。

1点目は、研修施設についてだが、どのような研修施設なのか。

2点目は、訓練の内容について教えていただきたい。

【提案No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業提案者】

研修先は、自然豊かな環境下にあり、コテージに宿泊する予定である。

訓練については、昨年と同様で、規律訓練と早朝訓練を行うほか、今回は、子どもたちと一緒に自炊体験を初めて行う。

【坂詰委員】

同じような質問になるが、二日間の内、何時間くらい訓練をするのか。日程を見ると、早朝訓練をやって、朝食が終わったら、観光だけになっている気がする。

【提案No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業提案者】

宿泊先に到着後、規律訓練を30分ほど行い、その後に自炊体験に入る。

自炊体験の際に、「災害時備蓄食料品」を使い、災害時の有事に動くことができるよう、経験を積みたいと考えている。だが、初めて、備蓄食料品を使うので、少し時間が掛かるかもしれない。適宜、訓練の時間は前後すると思う。

【仲田会長】

私から一点伺いたい。

見積書に「乗務員経費」とあるが、乗務員というのは、どういう人のことを指すのか。

【提案No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業提案者】

バスの運転手の費用である。

【仲田会長】

そうすると、見積書の「バス料金」は、バスの借上げ代のみということか。

【提案No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業提案者】

そうである。

【仲田会長】

旅行会社からバスを借りる場合、大抵は、運転手の費用も含まれている。バスの費用と運転手の費用を分けることは珍しい。「バス料金」の中に、運転手の費用が入っているのか、いないのか。採択金額が変わってくるため、重要なことである。

【提案No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業提案者】

見積書のとおりである。

【仲田会長】

他に質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.4 西ヶ窪浜少年消防隊育成会事業」について、提案者へ説明を求める。

【提案No.4 西ヶ窪浜少年消防隊育成会事業提案者】

・補足説明なし

【仲田会長】

提案者に質問等はあるか。

【坂口委員】

2日目の訓練内容で「規律訓練、体力づくり、オリエンテーション」とあるが、主にどういうことをするのか。

【提案No.4 西ヶ窪浜少年消防隊育成会事業提案者】

体力づくりは、宿泊施設の周りに1.5kmから2kmくらいある周遊コースがあり、そこでランニングを行い、ラジオ体操を行う。

規律訓練は、団体行動や集団行動に於ける規律行動を訓練していく予定である。

オリエンテーションは、宿泊施設内に「スポーツアクティビティ」というサービスがあり、プールに入れたり、釣り等ができるようになっている。

この「スポーツアクティビティ」に関しては、自主財源で行う。

【白砂副会長】

昨年、消防団の子どもたちが拍子木を持って、町内を回っていた。とても良いことだと思ったが、今年も実施するのか。

【提案No.4 西ヶ窪浜少年消防隊育成会事業提案者】

今年は、11月頃の「秋の防火週間」の際に実施しようと考えている。

【白砂副会長】

とても良いことだと思うので、これからも続けていただきたい。

【提案No.4 西ヶ窪浜少年消防隊育成会事業提案者】

承知した。

【仲田会長】

他に質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.6 八千浦地区活性化・青少年育成事業「第7回 八千浦地区海まつり」」について、提案者へ説明を求める。

【提案No.6 八千浦地区活性化・青少年育成事業「第7回 八千浦地区海まつり」提案者】

・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

次に「No.7 夷浜少年消防隊夏季訓練事業」について、提案者へ説明を求める。

【提案No.7 夷浜少年消防隊夏季訓練事業提案者】

・提案書に基づき補足説明

【仲田会長】

提案者に質問等はあるか。

【白砂副会長】

昨年、「積み立て等を行い、自主財源を多くしていただきたい」ということを伝えたかと思うが、今年の自主財源を見ると、1人1,000円の積み立てとなっている。その点は評価したい。しかし、この事業では高額のコストを掛けていろいろな所を廻り体験するが、それが、少年消防隊の活動に活かされていないように感じる。中学生も消防団の方も忙しいのは分かるが、夏季訓練の2日間だけで終わりにせず、例えば、夏の時期に、消防隊の方から歩いていただき、声掛けをするなど、日常の活動に訓練を活かすことを考えていただきたい。

【提案No.7 夷浜少年消防隊夏季訓練事業提案者】

承知した。

【仲田会長】

質問等はないため終了とする。

— 提案者退室 —

提案者による説明が終わったので、引き続き委員協議に入る。

提案額が配分額以内なので、1件ずつ協議し、採択していきたいと思う。

最初に「No.1 バasketボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」について、意見等はあるか。

【関川信之委員】

ヒアリングの際、構成員について質問したが、八千浦区のメンバーが少ないのが現状である。だが、練習の本拠地や主体は八千浦区にあることなどから、八千浦区の子どもは少ないが、このまま八千浦区の地域活動支援事業として採択すべきだと考えている。

【仲田会長】

提案書に「会則」が添付されているが、「第四章 組織」の中で、『八千浦小学校在学の小学生を中心に構成する。また、少子化に伴うクラブとしての存続、ミニバスを通じての校外との交流親善の為、近隣の小学校にもクラブの会則に賛同、協力することを条件に生徒、保護者の入会を許可する』という内容について、規約を作った段階では、八千浦区の子どもが多かったため、このような規約になったのだと思うが、今回の提案の代表者が八千浦区の住民でないことから、規約との整合性が取れているのかという点で少し気になった。ただ、「第五章 役員」の中に『役員 2. 役員は、保護者会にて選出する。役員のどれかに必ず八千浦地区の保護者が入ることとする』となっているので、事務局から提案者に、役員構成を教えていただけるよう、お願いできないか。

【星野主事】

承知した。

【坂詰委員】

見積書の中で、宿泊代が「一泊二食付」になっているが、補助の対象は宿泊代のみではなかったか。

【仲田会長】

始めの段階では、宿泊代のみで食費については、大人分は自己負担とし、最低限の附帯まで認めていたが、去年から、その部分について認めていたと思う。

— 飲食の取扱いについて協議 —

- ・食費は補助対象外、引率者への補助は子どもの人数の概ね2分の1までとしていたことを確認。

【荒木係長】

宿泊費に関して、提案者に確認する。

【仲田会長】

確認している間、次へ進める。

「No.2 幼年野球を通じた地域活性化・青少年の健全育成事業」について、意見等がないため、採決に入る。この提案について、採択に賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.3 防犯灯を整備する事業」についてだが、防犯灯を通学路に設置すること。意見等はあるか。

【坂口委員】

今回の提案は、荒浜地内までだが、その先に小学校や中学校がある。今後、夷浜の方まで伸ばしていくとなると、継続事業となるのか。

【仲田会長】

「明るい町づくり協議会」から提案があったが、今後、地域内で要望があれば対応していきたい。

【坂口委員】

荒浜だけということか。

【仲田会長】

黒井駅から荒浜の団地までである。

【坂口委員】

通学路は他にもあるため、そこにも防犯灯を付けるとなると、継続事業として扱うのか。

【仲田会長】

通学路が小・中学生の通学路なのか、一般も含めた地域全体の通路なのか。その辺をどう捉えるかである。

提案書だと、必ずしも通学路ではなく、荒浜地内については通学路を含む。

現地には、団地の前に全く防犯灯がない。そこで、地域から要望が出てきた。

他に意見はないため、採決に入る。この提案について、採択に賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.4 西ヶ窪浜少年消防隊育成会事業」について、意見等はあるか。

【関川信之委員】

ヒアリングの際、レクリエーション（旅行先での遊び）の部分については自己負担で行うと言っていたので、この提案に関しては、提案どおり採択でいいと思っている。

【仲田会長】

他に意見等はないので採決に入る。この提案について、採択に賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.5 下荒浜消防部少年消防隊夏季研修事業」について、意見等はあるか。

【坂詰委員】

ヒアリングの際も質問したが、研修の時間が少なく、レクリエーションの部分が多い気がする。西ヶ窪浜少年消防隊に比べると、下荒浜少年消防隊と夷浜少年消防隊はレクリエーションの時間が長い。また、西ヶ窪浜少年消防隊は、レクリエーションは自主財源で行うとも言っていた。

先ほど、白砂副会長も言っていたが、この研修が少年消防隊としての活動に活かされているのかが見えてこない。

その辺を考慮すると、訓練の時間を主としてもらいたいという部分がある。

【仲田会長】

先ほど質問した部分に関わるのだが、「支出の部」で『傷害保険費』とあるが、それが21名分となっている。運転手が別にいるとしたら、運転手分の保険料はないのか。

また、ヒアリングの際にも話した「バス料金」の部分だが、通常、バスを借り上げると運転手は付いてくる。

【関川信之委員】

先ほどの説明だと、元々、運転手付きでバスを借りているのだと思う。

【荒木係長】

先ほど、提案者の方に確認したら、バスの借り上げと運転手にかかる費用を別々にして見積もりを出すよう依頼したとのこと。

【仲田会長】

バスと運転手にかかる費用を別々に見積もったから、傷害保険も21名分しかないということか。

【荒木係長】

そうである。

【仲田会長】

今後のこともあるため、バス借り上げの際は、傷害保険、事故対応というのがあるから、そこはきちんと、提案者が確認した上で見積もりを依頼するようお願いしたい。

説明が不十分だったので、「バス料金」と「乗務員（運転手）経費」について、事務局から確認していただき、「バスに運転手が付いている」ということであればこの金額で採択する。他の団体もバス料金が計上されているが、別々になっていない。

他に意見等はあるか。

【関川信之委員】

2日目の日程だが、朝起きてランニングをし、朝食を食べてからおもちゃ王国へ行き、ショッピングをして帰宅するというのは、今一つ納得いかない。

そして、傷害保険も他の保険料と比べると高くなっている。

【仲田会長】

では、2日目の日程については、レクリエーションが主とならないよう訓練の時間を増やすよう見直していただくということを附帯意見として付けるということによろしいか。

（異議なし）

では、その附帯意見を付けた上で採択に賛成の方は挙手願いたい。

（全員挙手）

【関川センター長】

では、附帯条件付で採択ということで提案者へ伝えさせていただく。ただ、先ほどの「バス料金」と「乗務員経費」の部分で、多少、金額が前後する可能性がある。

【仲田会長】

次に「No.6 八千浦地区活性化・青少年育成事業「第7回 八千浦地区海まつり」」について、意見等はあるか。

【柳澤委員】

今回、トランシーバーが見積もりに入っているが、2台だけ購入となっている。2台で足りるのか。

【仲田会長】

事前に相談があったのは、「2組」だった。

【柳澤委員】

では、4台ということか。

【仲田会長】

「2組」という言い方しかしていなかった。

【坂詰委員】

これから海まつり実行委員会で検討していくことだと思うが、今回もカラオケを実施すると思う。正直に言うと、カラオケ教室に通っているセミプロみたいな人たちが歌うと、地元の人達は、歌いたくても歌えないのではないかな。

もう少し、地元の人が参加出来るように進行していただきたい。

【仲田会長】

昨年の実態から言うと、事前申込みを取っている。その事前申込みが圧倒的に少なかった。ステージを使うのが小・中学生、高校生だけなので、場を盛り上げるためにカラオケ教室に通われている方々が歌っている。できれば、もう少し事前申し込みが多くなって欲しいと思う。

この件については、実行委員会に伝えておく。

では、この提案について、採択に賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

次に「No.7 夷浜少年消防隊夏季訓練事業」についてだが、隊列の訓練を見ると、去年よりも上手になっていた。訓練の成果は出ていると思うし、先ほど、白砂副会長が言ったように、日常的に訓練の成果を出してほしいという意見もあった。

【坂詰委員】

下荒浜少年消防隊と同様に夷浜少年消防隊も、訓練を中心にした取組をしてほしい、という文言を意見として付けていただき、提案者に伝えていただきたい。

【仲田会長】

それでよろしいか。

(異議なし)

【関川信之委員】

シーカヤックは効果があると思うが、他のレクリエーションについては自主財源で行ってほしい。

【仲田会長】

では、下荒浜少年消防隊と一緒に、レクリエーションに関しては、今後、出来るだけ自主財源で実施し、内容は、訓練を中心として実施するようお願いしたい。

【坂口委員】

夷浜少年消防隊に関しては、以前にも、訓練を目的とした事業であるため、計画を見直すように強く言ったことがあったが、レクリエーションの部分が増えてきている現状にある。シーカヤックは良いことだと思うのでやっていただきたいし、佐渡消防本部へ行き、違った防災機能の確認をすることは良いことだと思うが、佐渡歴史伝説館や太鼓体験というのは、必要なかどうか。今一度、「少年消防隊の夏季訓練」としての内容を精査していただきたい。

その旨を意見として、事務局から提案者に強く言っていただきたい。

【仲田会長】

観光の要素は少なくし、訓練を主として実施するようお願いしたい。

先ほどの説明では、「異文化に触れることも、自分の郷土を見つめ直す一つの機会」と言っていた。

日程表の2日目を見る限りでは、シーカヤックは有効な訓練だと思っている。

【関川信之委員】

その他に、提案書に夷浜会館から直江津港まで行軍して行く、と書いてある。

【仲田会長】

確かに、その点は以前と比べると、成長した部分でもあると思う。

では、先ほどの坂口委員からの意見を附帯意見とし、採択に賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

では、提案No.1の宿泊代については、確認が取れたか。

【荒木係長】

提案書には、素泊まりの金額で計上してあるとのこと。何故、見積書に「一泊二食」

と書いてあるかと言うと、見積書の書式が決まっており、このような状態でしか出せなかったとのこと。事務局の補足説明に不足があり、申し訳ない。

【仲田会長】

では、再確認するが、あくまでも食事代は、当補助金では「対象外」にすることと、引率者については、子どもの人数の概ね2分の1を補助対象とする。

では、「No.1 バasketボールを通じての地域活性及び青少年の健全育成事業」について、賛成の方は挙手願いたい。

(全員挙手)

では、採択とする。

以上で、採択審議を終了とする。

続いて、残額があるので、追加募集の進め方について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

- ・追加募集の実施について、委員協議するよう依頼

【仲田会長】

追加募集を実施するかどうか、委員から意見を求める。

【柳澤委員】

追加募集するべきである。

【仲田会長】

他に意見がないようなので、追加募集を実施することで、委員から了承を得る。

追加募集期間等について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

- ・追加募集期間について提案

追加募集期間の事務局案：7月15日（金）から7月29日（金）まで

【仲田会長】

募集期間について、意見等はないため、事務局の提案とおりの募集期間で了承を得る。

委員の皆さんの所に、追加募集について、相談は来ているか。

【坂詰委員】

例年とおりに、「はまぐみ市」を予定しているので、そちらで使わせていただきたいと思いますと考えている。

【柳澤委員】

「文化講演会」も開催しようと思っているので、そちらでも是非、使わせていただきたい。

【仲田会長】

私の所へは、「夷浜米大舟 舟踊会」から今回も提案させていただきたい、という話が来ている。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

【星野主事】

- ・次回協議会について説明

協議内容は、委員研修と自主的審議の進め方について、意見交換ができればと考えている。

次回協議会の事務局案：7月15日（金）、21日（木）

【仲田会長】

- ・次回協議会：7月15日（金）午後6時30分～
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。